

第10回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず＜企画シート作成上の注意＞をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナル名（フリガナ）
フリガナ）チュウキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ヨシノ ユウスケ ゼミナル
中京大学	経済学部	吉野 裕介 ゼミナル

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ）シュバリエ	フリガナ）ツマガリ ショウタ	5
C h e v a l i e r	津曲 章太	

研究テーマ（発表タイトル）

ごみ箱が消えた街 ～名古屋のポイ捨て事情～

1. 研究概要（目的・狙いなど）

タピオカブームの背景でプラスチックごみなどのポイ捨て問題が深刻化している現状を、実地における調査やヒアリングを行うことで分析し、ポイ捨てがなくならない原因と名古屋市にごみ箱がない理由を突き止める。また、以上の研究結果をもとに、ポイ捨て問題を解決するための提案を行う。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、名古屋市ではごみを出さない街づくりをすすめるべく、「ごみ非常事態宣言」や「ポイ捨て防止条例」などを掲げ、広域的なポイ捨て対策をおこなっている。

前者は藤前干潟の埋立地化計画の中止を契機としてはじまった声明であり、今日までのごみ問題に関する条例の中軸を担っている。具体的には、ごみ箱周りのごみ散乱や家庭ごみの持ち込みを防止するために、公営のごみ箱を市内から撤去したり、マイボトル・マイカップ運動によりごみを出さないライフスタイルの確立を推奨したりといった取り組みを行ってきた。

また後者では、特にポイ捨てのひどい 24 地域を「美化推進重点区域」に指定し、表示看板・路面標示を用いたポイ捨て意識の啓発や職員によるクリーン活動などを行っている。これらの取り組みによって、この 20 年間で名古屋市のごみ処理量が約 4 割、埋め立て量は約 8 割削減された。

3. 研究テーマの課題

現状分析により、名古屋市ではごみ自体の排出を抑えるための取り組みを続けていることがわかった。しかし、市内ではポイ捨て問題が依然として残っており、特にプラスチック容器や紙類のごみが目立っている。数値・データ上ではごみに関する問題は年々改善されつつあると見てとれるにもかかわらず、このような現状にある原因はごみ箱が少ないためだという仮定に至った。

この仮定を検証するため、名古屋市内の 3 か所にてポイ捨ての実態調査を行い、①ごみ箱が少ないので本当か？②ポイ捨て問題との関係性はあるのか？をそれぞれ精査した。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

仮定①②を検証するため、ごみの実態調査、市民へのアンケート調査、自治体へのヒアリング調査を行う。

ごみの実態調査では、金山駅周辺、名城公園、大須商店街を調査場所として定め、落ちているごみの種類・分布および域内のごみ箱の場所を調べ、ポイ捨て行為の傾向とごみ箱との因果関係を探る。

市民へのアンケート調査では、ポイ捨てに対する考え方を聞き取り、ポイ捨てが起こる背景にはなにがあるのかを探る。

ヒアリング調査では、自治体におけるポイ捨て問題の現状と取り組んでいる対策や、消費者とは違う視点からの意見を聞き出す。

以上の三つの調査結果から、名古屋市ではポイ捨て問題が解消していない原因・背景を導き出す。

ポイ捨てに関するアンケート調査表							年 月 日
此度ポイ捨てに関する実態調査を行うにあたり、ポイ捨てについてのアンケート調査を実施することになりました。							
様々な方からのご意見を参考にさせていただきたいので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。							
質問1 あなたご自身のことについてお伺いいたします。（必須ではありません。）							
性別	男性	女性	未婚/既婚	未婚	既婚		
職業	主婦	会社員	自営業	公務員	学生	無職	その他（ ）
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
年齢	80代						
質問2. 以下の質問事項について、あてはまる回答の□にチェックを入れてください。							
質問事項		評価					
		はい	いいえ				
1. ポイ捨てという言葉を聞いたことはありますか？		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
2. これまでポイ捨てをしたことはありますか？		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
3. これまでポイ捨てをしている人を見たことはありますか？		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
4. 近くにゴミ箱がない場合、ゴミを持ち帰りますか？		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
5. 公共の場ではゴミ箱が少ないように感じますか？		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
質問3. 以下の質問事項にお答えください。							
(1) 質問2-2で「はい」にチェックされた方に伺います。							
どのような種類のゴミをポイ捨てしたことがありますか？当てはまる種別に○をつけてください。							
可燃ゴミ（紙、生ごみなど）		不燃ゴミ（金属製品、ガラスなど）		プラスチックゴミ		空き缶・空き瓶	
その他（以上に当てはめられないもの、または不明なもの）…							
(2) 質問2-4で「いいえ」をチェックされた方に伺います。							
持ち帰られない場合、ゴミをどうするのか具体的にお書きください。							
(3) ポイ捨てに対して、あなたが考えている要望や疑問等あればお書きください。							
これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。							
なお、この用紙は厳重に保管し、セミ活動の参考にする以外の目的には使用いたしません。							
インタビュー企画書							
インタビュー先	大須商店街連盟 担当者様						
取材日時	2019年9月17日(火)～20日(金)のうち指定していただいた日時・時間に伺います（30-60分程度）						
取材チーム	中京大学経済学部吉野ゼミナール 担当者 計2名						
取材主旨	大須商店街におけるポイ捨て問題の現状や取り組み・対策について						
インタビュー内容	<p>【1】大須商店街におけるポイ捨ての現状について 排出されるすべてのゴミの量と主にどのゴミの種類は？ 食べ歩きなどでポイ捨てされるゴミはどれだけか？ ポイ捨てに対してどう感じているか？</p> <p>【2】大須商店街のポイ捨てへの対策について 連盟として行なっているポイ捨ての対策は？ 各店舗に対してゴミの排出に関する取り決めや制約などはあるか？ 案内人の方などボランティアで活動されている方々は多いのか？ 土日以外に案内人の活動を行わないのはなぜか？</p> <p>【3】その他のことについて なぜ道端や商店街内の各所に燃えるゴミなどを捨てるゴミ箱がないのか？ 商店街内でたゴミは誰が責任を持って処理をしているか？ 来場した方々に気をつけていただきたいことはあるか？ 昨今の食べ歩きブームについてどう感じるか？</p>						
アンケートについて	※そのほかお話を内容によって適宜質問させていただきます。						
アンケートについて	インタビュー当日に、こちらで作成したポイ捨て意識調査を街頭にて来客された方向けに行なわせたいと思います。そのため、許認可のほどをよろしく願います。						

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ・愛知県名古屋市金山駅周辺のごみ実態調査（2019/9/7）
- ・愛知県名古屋市大須商店街のごみ実態調査（2019/9/7）
- ・愛知県名古屋市名城公園のごみ実態調査（2019/9/17）
- ・愛知県名古屋市大須商店街にて大須商店街連盟常任理事青年部部長にヒアリング（2019/9/19）

目的：大須商店街におけるポイ捨て問題の現状について知るため

- ・愛知県名古屋市大須商店街にてポイ捨てに関する街頭アンケートを実施（2019/9/19）

目的：大須商店街を訪れた方がポイ捨てに対しどのように感じているかを知るため

6. 結果や今後の取り組み

現状分析を踏まえたうえでごみ箱の設置とポイ捨て問題の関係性を調査した結果、①調査したエリア3か所とも域内の飲食店内を除いて可燃用ごみ箱が設置されていないこと、②大須商店街にておこなった街頭アンケート結果から、捨てられるごみはほとんどが持ち帰り可能な飲食店の商品に付随するものであること、ほとんどの回答者が名古屋にはごみ箱が少ないと感じていること、ポイ捨てしたことのある人の多くは近くにごみ箱がないために仕方なくポイ捨てをしていたことがわかった。

また、ごみ箱を撤去する名古屋市の方針がごみをごみ箱に捨てる機会を喪失させており、かえってポイ捨てという行為を促していることがわかる。そのため、名古屋市の「ごみを出さないまちづくり」の方針のもとではポイ捨てをなくすという点では不十分であると判断した。

さらに、大須商店街連盟へのヒアリングから、名古屋市の方針と大須商店街の方針とではごみ問題に対する姿勢に差異がある

こと、大須商店街連盟は排出されるごみを全店舗で受け入れていくよう呼びかけることでポイ捨てが発生しないよう努めているが、解決には至っていないことが判明した。

以上の検証結果から、名古屋市が掲げる「ごみを出さないまちづくり」方針に則った上でポイ捨てを抑止する方法として、ポイ捨てのものとなる容器やそれに付随するものを極力出さない商品提供を考慮する必要があると考えた。

7. 参考文献

・植田憲 高野維斗 神崎広史 宮崎清；ごみの「ポイ捨て」の未然防止に関する調査・研究

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssd/53/0/53_0_188/_pdf (2019/8/5)

・名古屋ごみレポート'18 版

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000015/15557/zentai.pdf#search=%27%E5%90%8D%E5%8F%A4%E5%B1%8B%E3%82%B4%E3%83%9F%E3%83%AC%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88%27> (2019/8/20)

・2年間でゴミを23%削減！—名古屋市の取り組みと成果、そして今後

https://www.japanfs.org/ja/news/archives/news_id027217.html

・タピオカドリンクの放置ゴミに困った 飲む人のマナー向上を 名古屋・大須商店街

<https://www2.ctv.co.jp/news/2019/06/19/54977/>

・大須商店街、タピオカ容器大量ポイ捨て

<https://opi-rina.chunichi.co.jp/topic/20190626-1.html>

・名古屋市 HP マイボトル・マイカップ運動

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000027269.html>

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

大須商店街にておこなったアンケートの回答用紙

大須商店街連盟へのヒアリング調査要項

【企画シート作成上の注意】※「第10回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。

・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。

・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。